

# 工事概要

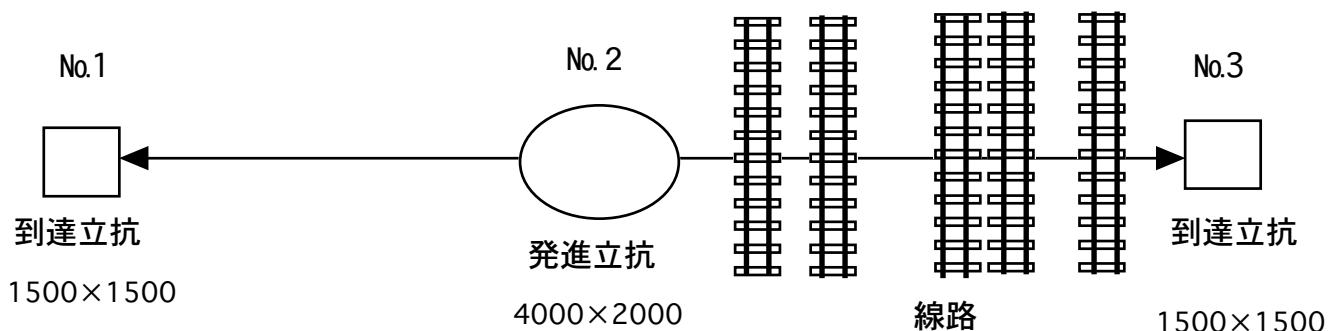
施工場所： 広島県広島市

施工内容： 伏せび改良

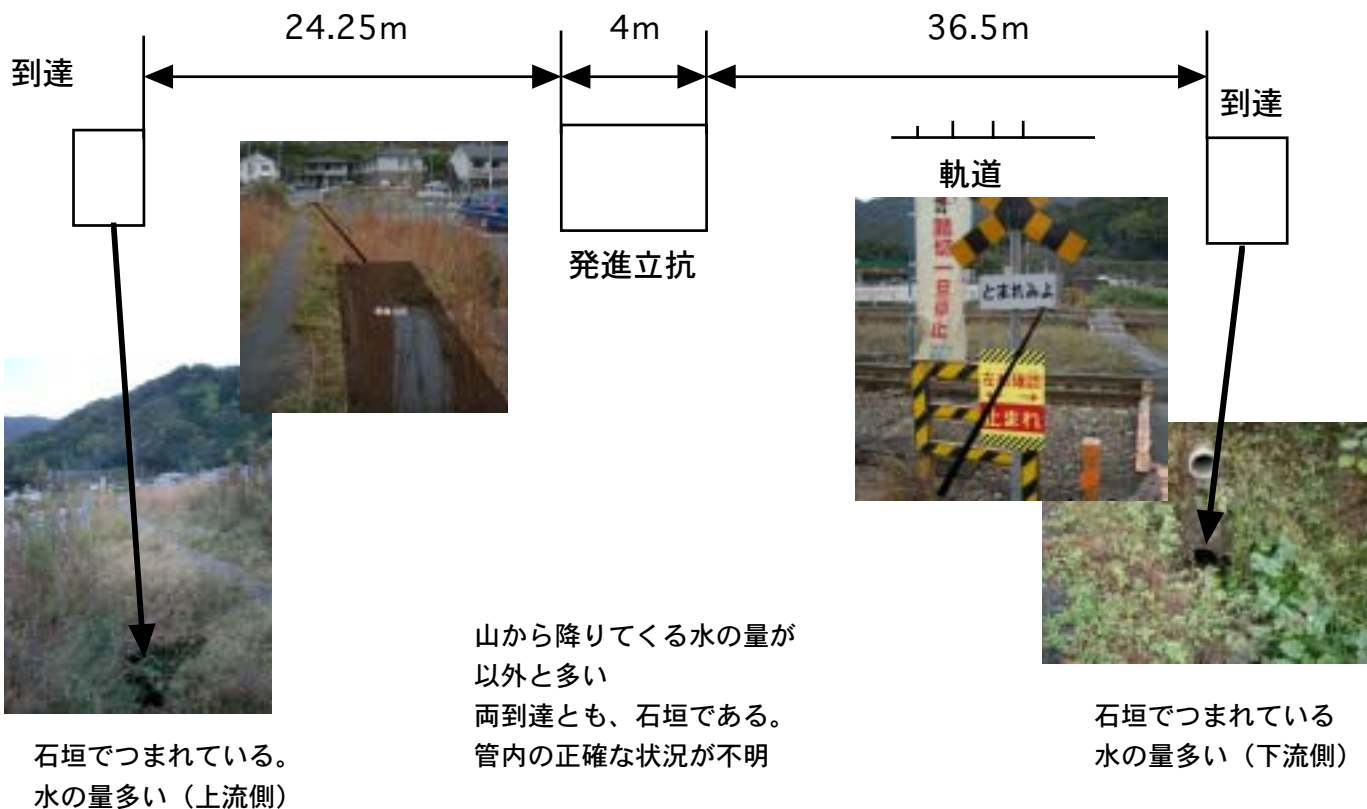
φ450陶管（一部ヒューム管）→φ450ヒューム管に改築、更新

施工延長： 60.75m（24.25mと36.5m 2 スパン）

## 平面図



## 縦断図



# 発進立抗構築後の管内老朽管の状況

No. 2 ~ No. 1 の管内を見た様子



拡大図

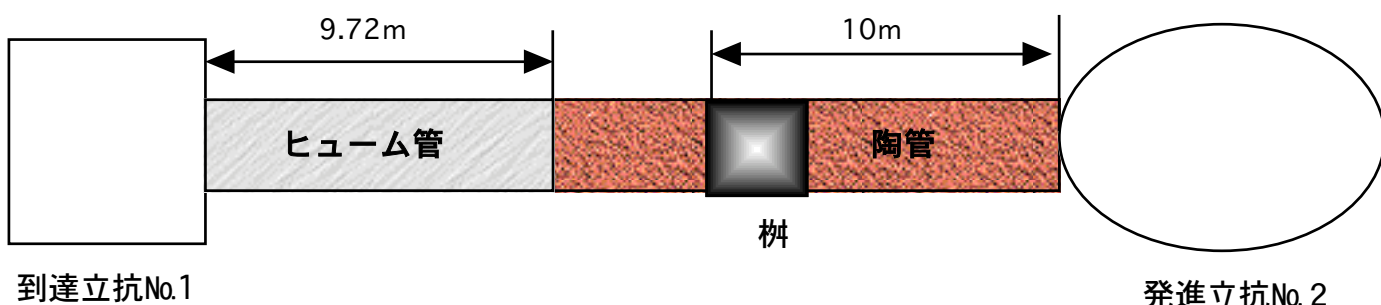


下→左→右と蛇行しているのが確認出来る  
10mくらい先の上側に障害物らしい物が見える  
また、No. 1 の管口は確認出来ない。

障害物、陶管の上部が破損していることが予想出来る



障害物の見える所の真上くらいにこの柵があった。(現在は使用されていない) 深さも、管上程度であることから障害物は柵のコンクリートと判明した。



No. 1 ~ No. 2 の管内を見た様子



蛇行というより、”折れ”で目地が開いていることが確認出来る  
No. 2 の管口が見えないことから極端な折れが予想できる。

No. 2 ~ No. 1 の施工



クラッキングヘッド吊りおろし状況



発進状況



到達側、ウィンチ設置状況



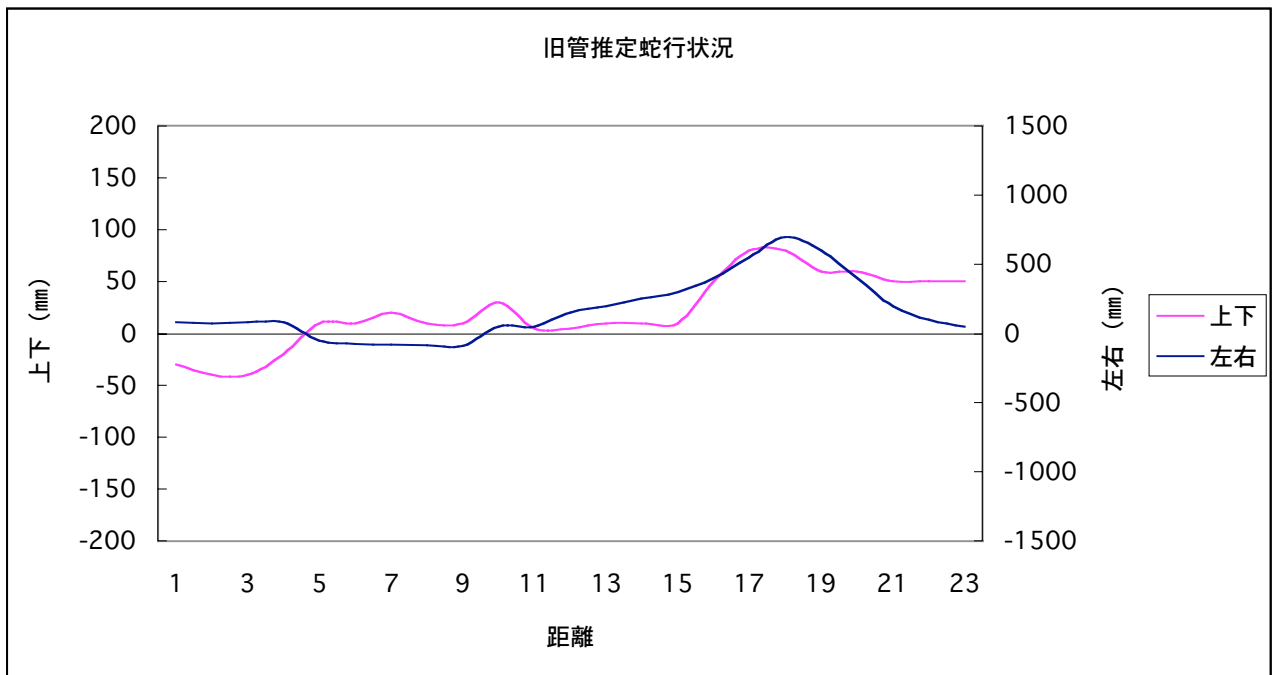
柵の障害を通過したクラッキングヘッド  
陶管と柵のコンクリートを破砕しているのが確認出来る



クラッキングヘッドを引っばっている様子  
旧管が曲がっているため、ワイヤーが真っ直ぐ  
引けず左側によっている



ヒューム管を圧入している様子



### 旧管と更新管の比較



1 m ~ 3 m 先まで水が溜まって逆勾配になっている



勾配が一定になっているのが確認出来る



クラッキングヘッドがヒューム管を破碎した状況